

2025年8月28日

BPO(放送倫理・番組向上機構)御中

依存症問題の正しい報道を求めるネットワーク

URL: <https://izon-hodo.net/>

発起人 (50音順)

今成 知美 認定 NPO 法人 A S K (アルコール薬物問題全国市民協会) 代表  
大嶋 栄子 NPO 法人リカバリー代表/精神保健福祉士・博士 (社会福祉学)  
上岡 陽江 NPO 法人ダルク女性ハウス代表/精神保健福祉士  
斎藤 環 筑波大学医学医療系社会精神保健学 名誉教授/精神科医  
佐原 まち子 一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所 代表理事/医療ソーシャルワーカー  
田中 紀子 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 代表  
信田 さよ子 公認心理師・臨床心理士  
樋口 進 国立病院機構久里浜医療センター名誉院長・WHO 物質使用・嗜癖行動研究研修協力センター長/精神科医  
松本 俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 部長/精神科医  
森田 展彰 筑波大学 医学医療系 社会精神保健学 准教授/精神科医  
横川 江美子 NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会 理事長  
米山 奈奈子 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授/看護師・保健師

**【本意見書の賛同団体 (50音順)】**

NPO 法人アジア太平洋地域アディクション研究所 (アパリ)  
認定 NPO 法人 A S K (アルコール薬物問題全国市民協会)  
一般社団法人 A R T S (Addiction Recovery Total Support)  
一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所  
NPO 法人全国ギャンブル依存症家族の会  
公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会  
認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構 (COMHBO)  
NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会 (やっかれん)  
日本アディクション看護学会  
日本アルコール関連問題学会  
一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会  
公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会  
公益社団法人日本社会福祉士会  
一般社団法人日本精神科看護協会  
公益社団法人日本精神保健福祉士協会  
NPO 法人日本ソーシャルワーカー協会  
認定 NPO 法人ふれいす東京

「依存症問題の正しい報道を求めるネットワーク」(以下、当ネットワーク)は、依存症の回復支援に取り組む当事者・家族・治療者・研究者ら有志で 2016 年 7 月に結成した団体です。今回の意見書に関しては、上記の 17 関連団体・学会から賛同を得ており、連名で提出させていただきます。

本意見書の取りまとめ責任者：今成知美 (認定 NPO 法人 ASK 代表)

メール: [imanari@a-h-c.jp](mailto:imanari@a-h-c.jp)

## 大学生の薬物問題における「実名」「顔出し」報道に対する意見書

### 国士舘大学柔道部員の大麻問題報道——「実名」「顔出し」が引き起こす問題

2025年8月4日、ほとんどのメディア（確認できているのはNHK/テレビ朝日/日本テレビ/フジテレビ/TBS）が、大麻所持使用容疑の国士舘大2年生（20）の逮捕を「実名報道」しました。共同で大麻を購入し使用したとされる1年生（19）も同日逮捕されましたが、20歳未満であるため匿名報道でした。1歳の差がとてつもなく大きな違いを生み出しました。

とくに問題だったのがTBSテレビの報道です。Nスタが【独自】と銘打ち、神戸の自宅から2年生（20）が警視庁の捜査員に連行されていくようすを、新神戸駅のエスカレーター、新横浜駅で待ち受けて撮影し、実名かつ「顔出し」の映像を繰り返し報道したのです。その録画は、Yahooニュース、TBS NEWS DIG Powered by JNN、YouTubeに掲載されていました（参考資料4）。私たちは、この報道は人権侵害に当たると考え、8月11日にTBSに電話してNスタのプロデューサーに意見を伝えました。録画は掲載期限だったのか同日削除されましたが、8月20日の再逮捕時の報道でまた使われました（参考資料5）。

「匿名」報道か、「実名」「顔出し」報道かは、社会での再起に際して条件がまったく異なります。

ネット社会の現代では、報道でプライバシーをネットにさらされた者は、半永久的にデジタルタトゥーを背負って生きなければならないからです。実際に、就職や不動産賃貸などでも不利益を被りますし、本人だけでなく家族ぐるみで社会的スティグマの対象にされます。

人権に配慮し、青少年の再起を支援する観点から、薬物報道のあり方についてBPOでぜひ議論していただきたいです。

なお、大学生の薬物問題は、報道が過熱する傾向があることを申し添えます。2023～24年の日本大学アメリカンフットボール部の大麻問題でも、実名・顔出し報道が大々的に行なわれました。

### 参考資料1：匿名報道もある警察官の大麻問題

警察官の大麻問題では「匿名」で報じられた例がありますので、参考までに挙げておきます。このような配慮を大学生にもしていただきたいと思います。

例1：警察学校時代の同期3人で大麻使用か？ 道警の男性巡査2人を懲戒免職処分 麻薬特例法違反の疑いで書類送検（2024/04/24 北海道テレビ放送）

例2：警察官が大麻所持「落ち込む気持ちから解放されるため使った」（2022/10/13 TBS）

※島根県警は13日、自宅で大麻を所持していたとして県内の警察署勤務の男性巡査長（26）を大麻取締法違反（所持）の疑いで書類送検し、懲戒免職処分にした。県警は（中略）、プライバシー保護を理由に名前や勤務場所も公表しなかった。（2022/10/13 中国新聞より引用）

### 参考資料2：国連人権高等弁務官事務所による声明 ※別紙

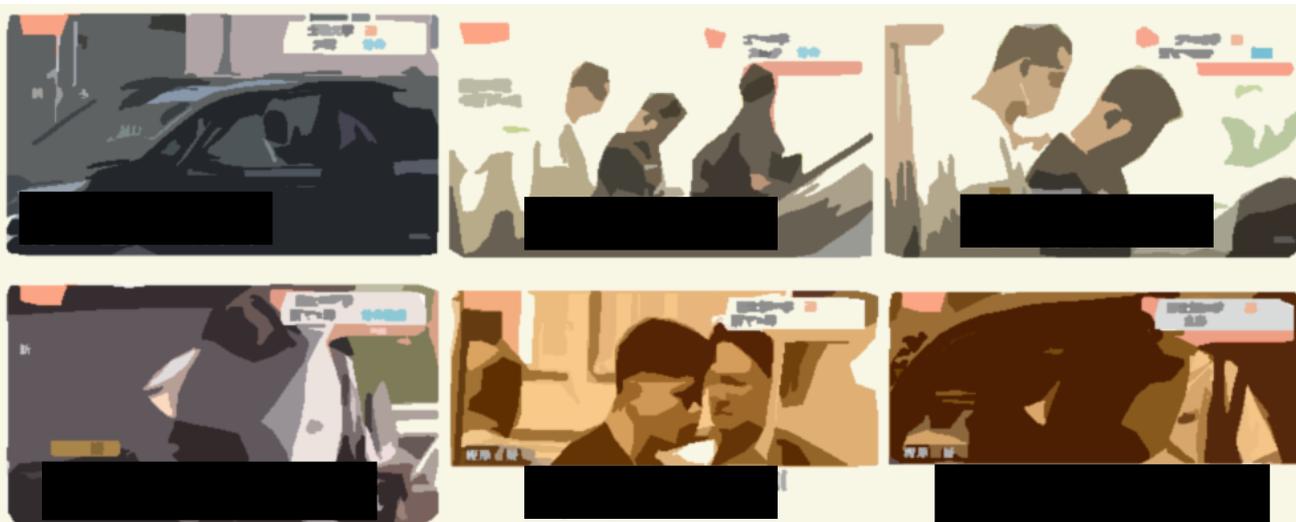
2023年6月、国連人権高等弁務官事務所が国際社会に対し声明を発表し、「個人のための薬物使用と所持は緊急に非犯罪化されるべき」であるとし、違法薬物犯罪の扱いについて処罰を支援に置き換え、人権を尊重・保護する政策を推進することを求めました。先進国ではすでに、薬物の個人による少量の自己使用は犯罪者として扱うのではなく、人権に基づく公衆衛生アプローチへと切り替えています。報道も「社会的制裁・スティグマ助長」から抜けて「人権尊重」へと舵を切る時期にあると思います。

### 参考資料3：「薬物報道ガイドライン」（依存症問題の正しい報道を求めるネットワーク）※別紙

当ネットワークが発足した2016年は、芸能人やスポーツ選手の薬物事件をめぐって、偏見や無理解に基づくバッシング報道が続きました。そのため2017年2月「薬物報道ガイドライン」を公表し、薬物問題への節度ある報道を求めました。2024年にver.3を公開しています。ご参照ください（別紙）。

参考資料4：TBS テレビ「Nスタ」でスクープ報道された実名・顔出しの連行シーン

2025年8月4日



画像は加工してあります

「1g4000円の草を2人で割り勘して買った」 国士舘大学の男子柔道部員2人を大麻所持などの疑いで逮捕 今年6月に学生寮「鶴川寮」を家宅捜索 警視庁

2025/8/4(月) 18:28 配信 Yahoo ニュース YouTube (TBS NEWS DIG Powered by JNN)

全国屈指の“柔道名門校”の部員から逮捕者です。警視庁は国士舘大学の男子柔道部員2人を大麻を使用するなどした疑いで逮捕しました。

国士舘大学男子柔道部をめぐる薬物事件。きょう動きが…

記者

「午前8時半です。今、榎原容疑者の自宅から続々と警視庁の捜査員が出てきました」  
神戸市の自宅から連行される男。

記者

「いったいった、エスカレーター上がってくる！」  
国士舘大学2年で男子柔道部員の榎原宏幸容疑者（20）です。けさ、麻薬取締法違反の疑いで逮捕されました。さらに…

記者

「男子柔道部員を乗せた車が警察署に入ります」  
国士舘大学1年の柔道部員の19歳の男も逮捕されました。  
榎原容疑者は今年3月から6月ごろの間、都内などで麻薬を使用した上で、柔道部員の19歳の男と共謀し、今年6月中旬、東京・町田市の国士舘大学「鶴川寮」で乾燥大麻およそ0.015グラムを所持した疑いなどが持たれています。2人はいずれも容疑を認めているということです。

この事件をめぐるのは…

国士舘大学 田原淳子 学長

「申し訳ございませんでした」  
この発端は、今年6月に寄せられた学生からの情報提供でした。

国士舘大学の学生

「部員数名が大麻を吸っている」  
これを受け、大学は翌日、部員に聞き取りを行い、警視庁に「柔道部員数人から大麻所持の申告があった」

などと相談。

警視庁の任意の調べに1、2年生の部員6人が大麻の使用を認め、国士舘大学の複数の男子柔道部員が大麻の使用に関与した疑いが強まったとして警視庁は「鶴川寮」を家宅搜索しました。

また、榎原容疑者の部屋からは大麻とみられる植物片などを押収しました。榎原容疑者は逮捕前の調べに…

榎原容疑者

「男子柔道部員（19）と一緒に自分の部屋で吸いました」

購入方法については…

榎原容疑者

「男子柔道部員（19）の高校時代の同級生からインスタグラムのDMで消えるメッセージでやり取りをして、草やリキッドを買いました。1グラム4000円の草を2人で割り勘をして買いました」

大学日本一を決める全日本学生柔道優勝大会の団体戦で、これまでに7回優勝し、オリンピック選手も輩出するなど強豪校として知られる「国士舘大学・男子柔道部」。大学は男子柔道部の活動を無期限の停止にしています。

“名門柔道部員”の逮捕に国士舘大学の学生は…

国士舘大学の学生

「これからどうなっちゃうのかな」

「大麻とかについての認識がどれくらいあるのか調査はありました。大学全体のイメージが低下するのはちょっと悲しい」

大学は学生の逮捕を受け、「この事態を重く受け止め、引き続き警察の捜査に全面的に協力するとともに、事実に基づき厳正に対処いたします」とコメント。

警視庁は入手ルートなど実態解明を進めています。

### 【独自】国士舘大学の男子柔道部員2人を自宅から連行 大麻所持などの疑いで逮捕 麻薬取締法違反 “柔道部員の知人から大麻草や大麻リキッドを買っていた”

2025/8/4(月) 11:49 配信 TBS NEWS DIG Powered by JNN

国士舘大学の男子柔道部員が大麻を使用するなどしたとして警視庁が学生寮を家宅搜索した事件で、警視庁がきょう、麻薬取締法違反の疑いで、男子柔道部員2人を逮捕したことがわかりました。

けさ、神戸市の自宅から連行される国士舘大学2年で男子柔道部員の榎原宏幸容疑者（20）。ほかにも、国士舘大学1年の柔道部員の19歳の男が逮捕されました。

榎原容疑者は今年3月から6月ごろの間、東京都内またはその周辺で麻薬を使用したうえで、今年6月中旬、19歳の柔道部員とともに東京・町田市の国士舘大学の「鶴川寮」で、麻薬を含有する液体と乾燥大麻およそ0.015グラムを所持した疑いがもたれています。

国士舘大学の男子柔道部員の大麻使用をめぐるのは、今年6月、大学が警視庁に「柔道部員数人から大麻所持の申告があった」などと相談。警視庁の任意の調べに、1、2年生の部員6人が大麻の使用を認め、国士舘大学の複数の男子柔道部員が大麻の使用に関与した疑いがあるとして、警視庁は「鶴川寮」を家宅搜索していて、榎原容疑者の部屋から大麻とみられる植物片などを押収していました。

調べに対し、2人は容疑を認めていて、榎原容疑者は逮捕前の調べに「男子柔道部員（19）の高校時代の同級生から大麻草や大麻リキッドを買っていた」などと話していたということです。

参考資料5：TBS テレビで再逮捕時に再び流された実名・顔出しの連行シーン

2025年8月20日



画像は加工してあります

**【独自】先月逮捕の国士舘大学男子柔道部の元部員2人を麻薬所持の疑いで追送検 新たに元部員2人も書類送検 警視庁**

2025/8/20(水) 10:19 配信 TBS テレビ TBS NEWS DIG Powered by JNN

大麻を使用するなどしたとして警視庁が国士舘大学の男子柔道部の元部員2人を逮捕した事件で、警視庁がきょう、2人を麻薬を含む液体を所持していた疑いで追送検するとともに、新たに元部員2人も書類送検したことがわかりました。

捜査関係者によりますと、麻薬取締法違反（共同所持）の疑いで追送検されたのは、国士舘大学2年で元柔道部員の榎原宏幸容疑者（20）と国士舘大学1年の元柔道部員の19歳の男です。

2人は今年6月中旬、東京・町田市の国士舘大学の「鶴川寮」で麻薬を含有する液体およそ0.079グラムを所持した疑いが持たれています。また、警視庁は同じ容疑で新たに20歳と19歳の男子柔道部の元部員を書類送検したということです。

国士舘大学の男子柔道部員の薬物使用をめぐるのは、今年6月、大学が警視庁に「柔道部員数人から大麻所持の申告があった」などと相談し、警視庁の任意の調べに当時1、2年生の部員6人が大麻の使用を認めていました。

警視庁は、国士舘大学の複数の男子柔道部員が大麻の使用に関与した疑いがあるとして「鶴川寮」を家宅捜索していて、大麻とみられる植物片などを押収していました。今月4日、警視庁は大麻を使用するなどしたとして榎原容疑者（20）と国士舘大学1年の元柔道部員の男（19）の2人を逮捕していました。

大学は一連の事件を受けて、男子柔道部の活動を無期限の停止にしています。